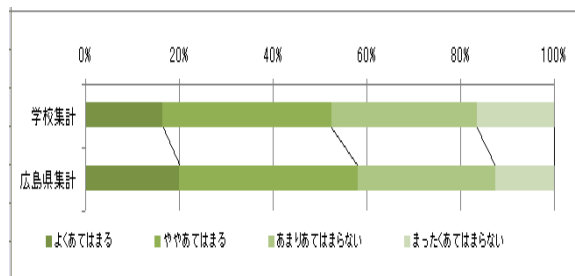


授業改善シート〔質問紙調査〕

校番(37) 福山市立 曙 小学校

1 生活・学習

自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。

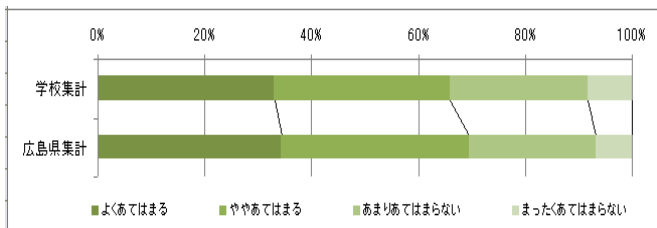


改善したい点(◎「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
◎ 児童の自己肯定感にかかわる本項目では、52.6%(県:58.1%)となっている。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、『伸びる曙っ子』の取組の深化を図る。とりわけ、児童の活躍の場を広げ、児童のがんばりを認める。 言語活動を通して、意思疎通の機会を増やす。
◎ 「自分には、よいところがあります。」という項目では、74.2%(県:73.8%)となっている。	

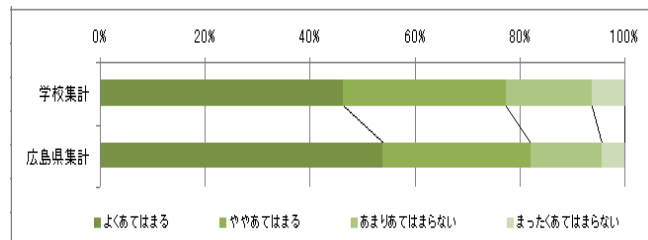
来年度の目標値	
	・「自分には、よいところがあります。」と「自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。」の通過率を県平均以上にする。

2 教科学習への意識

国語の授業では、「しかし」「また」「つまり」などのつなぎ言葉や「これ」「それ」「あれ」などの言葉に気をつけながら、文章を読んでいます。



算数の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、計算したり、表やグラフにしたりすることの役に立ちます。



	児童の回答と学校の指導についての課題(◎「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎「国語の授業では、『しかし』『また』『つまり』などのつなぎ言葉や『これ』『それ』『あれ』などの言葉に気をつけながら、文章を読んでいます。」の通過率が66.0%である。(県:69.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 場面の移り変わり、心情の変化、論述の展開などを示すキーワードとして、つなぎ言葉に注目させる。 指示語の便利さを習得させる。 日常の言語活動の中で意識的に使わせる。
算数	◎「算数の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、計算したり、表やグラフにしたりすることの役に立ちます。」の通過率77.3%である。(県:82.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 生活場面に基づいた課題を設定し、算数的活動を仕組む。 発表場面で、計算、表・グラフ化によって正確に伝えられることを実感させる。 発展・応用問題を作成させ、児童相互に取り組ませる。

来年度の目標値	
	・「国語の授業では、『しかし』『また』『つまり』などのつなぎ言葉や『これ』『それ』『あれ』などの言葉に気をつけながら、文章を読んでいます。」、「算数の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、計算したり、表やグラフにしたりすることの役に立ちます。」について県通過率を超える。

授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(37) 福山市立 曙 小 学校

～ 8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
・ Plan		・ Do				・ Check		・ Action				
結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施		→				検証	→				→	
全校・全教科	朝の学習 「チャレンジ タイム」	朝の学習, 読書, 数量関係の問題			類似問題 結果・分析	→	次年度に向け て	→	類似問題 結果・分析	→	→	→
国語	「書くこと」 「話すこと」 「聞くこと」	スピーチ, 作文, 日記指導, ノート指導			市販テスト 結果・分析	→	次年度に向け て CRTテスト 結果・分析	→	発展的な内容 を取り入れた 学習	再調査 結果・分析	→	→
算数	「数と計算」 「図形」 「数量関係」	作図指導, ノート指導, 四則混合計算問題, 自力解決の時間			市販テスト 結果・分析	→	次年度に向け て CRTテスト 結果・分析	→	発展的な内容 を取り入れた 学習	再調査 結果・分析	→	→
生活・学習	「家庭学習」 AKGデー	調査・分析	家庭学習の進 め方の確認 チェックカード による自己評価	学校行こう 週間	個人懇談	保護者アンケ ート 結果・分析	→	次年度に向け て	家庭学習の進 め方の再確認	学級懇談会	家庭訪問	→